

# 広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]

## 1 疾患別定点週報情報

平成14年第50週(12月9日～12月15日)

疾患No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	504	4.24	0.41	▲	12	麻疹	1	0.01	0.03	
2	咽頭結膜熱	19	0.25	0.09	↗	13	流行性耳下腺炎	38	0.51	0.95	▼
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	0.95	-	→	14	急性出血性結膜炎	0	-	0.05	
4	感染性胃腸炎	1,036	13.81	10.52	↘	15	流行性角結膜炎	21	1.05	1.02	⇨
5	水痘	163	2.17	2.29	↗	16	急性脳炎	0	-	-	
6	手足口病	37	0.49	0.35	↘	17	細菌性髄膜炎	2	0.10	0.00	
7	伝染性紅斑	2	0.03	0.16		18	無菌性髄膜炎	3	0.14	0.23	
8	突発性発疹	49	0.65	0.66	↘	19	マイコプラズマ肺炎	6	0.29	-	
9	百日咳	3	0.04	0.02		20	クラミジア肺炎	0	-	-	
10	風疹	2	0.03	0.05		21	成人麻疹	0	-	-	
11	ヘルパンギーナ	3	0.04	0.03		「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
▲	↗	↗	⇨
▼	↘	↘	
前週と比較しておおむね1:2以上の増減	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	殆ど増減なし

インフルエンザ(先週218件 今週504件)  
東広島保健所管内で、流行発生注意報の基準値(定点当たり10)を超えました。県全体ではこの基準値に達していませんが、今後全域に流行が広がっていくことが予想されるため、動向に注意してください。

## 2 一類・二類・三類感染症発生状況

一類感染症，二類感染症 発生なし  
三類感染症 1件発生(広島市O157 1件)